

現場見学会を開催し、圧入工法の理論と実践を普及

全国圧入協会（JPA）は、CPD（継続教育）認定の圧入工法技術講習会や現場見学会を各地で開催しています。

今年度は、4月から9月にかけて技術講習会を計30回、現場見学会を4回開催し、建設業界の関係者に圧入工法の原理や優位性を講習しています。ここでは、現場見学会の開催状況について紹介します。

現場見学会の対象工法は、いずれも「硬質地盤クリア工法」。同工法は、玉石混じりの砂礫層や岩盤などの硬質地盤を、オーガ削孔と圧入を連動させた独自の「芯抜き理論」の実用化によって克服し、圧入の優位性を損なうことなく適用地盤の範囲を飛躍的に拡大した工法です。同工法は、NETIS（新技術情報提供システム）の活用効果評価（要旨）で、「工程においては優れており、経済性、安全性、施工性、環境においては優れている」と高い評価を受け、「活用促進技術」に位置づけられています。

現場見学会は、鳥取県（6月）・高知県（8月）で、ハット形鋼矢板 900 を用いた硬質地盤クリア工法の見学会を開催しました（右記の写真と工事概要を参照）。ハット形鋼矢板 900 は、600mm 幅の広幅型鋼矢板に比べ、有効幅が 1.5 倍なので施工枚数が少なく施工費を低減できます。また、大断面で U 形鋼矢板のように継手効率による断面性能の低減が不要であるため、鋼材重量を低減できるという経済的な特長があります。なお、硬質地盤クリア工法の現場見学会は、静岡県（7月：施工業者；株式会社小澤土木(当協会員)）でも開催済みです。

圧入工法の理論を理解し、現場での実践状況を実際に確かめることができる現場見学会。上記 3 か所の現場見学会は、合計 172 名の建設関係者が受講されました。（受講者の内訳は右の円グラフを参照）

受講者の皆さんは、現場をご自身の目で確かめながら、他工法と比較した硬質地盤クリア工法の優位性や、ハット形鋼矢板 900 を使用した場合の施工方法など、JPA との間で質疑や意見交換が活発に交わされました。

JPA では、圧入工法の優位性を広く普及するため、多くの皆さんが工法の良さを体感できる現場見学会を、今後も全国各地で開催する予定です。JPA ウェブサイトを中心に様々な媒体を通じて技術講習会・現場見学会の情報を発信しますので、ぜひチェックしてください。

協会 Web サイト www.atsunyu.gr.jp

▼鳥取県鳥取市（開催日：6月26日）



【工事概要】

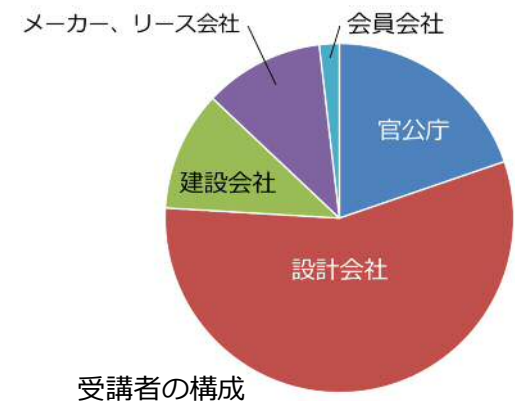
発注者： 国土交通省鳥取河川国道事務所
 工事名： 国道 9 号如来橋護岸工事
 元請者： 株式会社大晃工業
 施工者： 株式会社竹内クレーン工業（当協会員）
 施工方法： 硬質地盤クリア工法
 杭材： ハット形鋼矢板 900 45H、50H 型
 L=10.0~10.5m

▼高知県土佐市（開催日：8月6日）



【工事概要】

発注者： 高知県中央西土木事務所
 工事名： 宇佐漁港海岸高潮対策工事
 (漁高潮第 1-1-17 号)
 元請者： 株式会社龍生
 圧入施工： 柳生基礎センター株式会社(当協会員)
 株式会社親和（当協会員）
 施工方法： 硬質地盤クリア工法
 杭材： ハット形鋼矢板 900 50H 型 L=13.5m



高知県と「大規模災害時の復旧対策支援活動に関する協定」を締結

南海トラフ地震などの大規模な地震や津波による広域的かつ甚大な災害が発生した際に、協会の会員企業が保有する圧入機や技術者などの出動により、高知県が管理する公共土木施設の災害復旧対策を円滑に支援することが目的です。

全国圧入協会は、7月24日、高知県と大規模災害時の復旧対策支援活動に関する協定を締結しました。

○協定締結の目的

・南海トラフ地震などの大規模な地震や津波による広域的かつ甚大な災害の発生時において、高知県が管理する公共土木施設の災害復旧対策を円滑かつ的確に行う。

○協定内容

・全国圧入協会は、高知県と会員企業との間で支援連絡体制を構築・維持する。
 ・全国圧入協会は、大規模災害時には高知県の要請に基づき、会員企業の圧入機、技術者、運搬車両等の出動により、復旧支援活動を行う。
 ・高知県は、全国圧入協会に対し、大規模災害時に災害復旧支援を要請するとともに、可能な範囲で支援活動に不足する資材、クレーン、燃料類ならびに道路啓開情報を提供する。

○協定締結により期待される効果

・安全、急速、確実な施工を行う圧入工法により、河川・海岸堤防の応急復旧対策が早期に行える。
 ・市街地への海水の進入を最小限に抑えることで、長期浸水の早期解消、ならびに生活基盤の早期復旧につながる。
 ・全国規模の協会員ネットワークにより、広域的な支援が行える。

締結式では、尾崎正直高知県知事が「圧入工法は現場条件の厳しい場所での施工も可能で、市街地などの長期浸水対策に大きな期待をしています」と挨拶。一方、中岡智信会長は「圧入工法で県民の皆様に貢献できることを会員共々心から喜んでます」



高知県庁での協定締結の様子
 (左：尾崎正直高知県知事、右：中岡智信会長)

緊急復旧支援のイメージ



と応じました。当協会において行政機関との防災協定の締結は初めての事例で、今後他の行政機関にも働きかけを行い、圧入工法を通じた社会貢献を全国規模で推進していきます。

Infomation

事務局からのお知らせ

◇ 積算実務講習を開催しました

積算技術の普及を主な目的に、6月から8月にかけて JPA の会員企業を対象とした「積算実務講習」を開催しました。この講習は、今回が初めての試みで、積算に関わる用語から、工法選定および適用範囲、さらに各積算基準の解説など、基本的事項に絞って講習しました。

同講習は、北海道から九州まで全 9 地区で開催。受講者は 98 名にのぼりました。受講者の最も関心が高い項目は「各積算基準の解説」でした。今後、実践的なプログラムによる第 2 弾の講習を企画する予定です。



【新会員のご紹介】

正会員

- ・ エンドウ・エコレイズ(株) 東京都足立区
- ・ (有)照栄工業 千葉県船橋市
- ・ (株)菅原重機 宮城県東松島市
- ・ (株)ヤマセ工業 栃木県佐野市
- ・ 住吉運輸(株) 山口県下関市

(2015年4月16日~9月28日入会、50音順)

【会員数の状況】(2015年9月28日現在)

- ・ 正会員 150社
- ・ 協賛会員 14社
- ・ 賛助会員 3社2団体
- ・ 個人会員 8名